

川崎市総合計画市民検討会議 第4回全体会 意見シートのまとめ

分類	ご意見
会議の進め方について	<p>&lt;討議1 「市民検討会議 意見まとめ (案)」について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよ基本構想・基本計画に向かっての段階となっていくのでさらにしっかりとした会議になる様に努めていきたいと考えております。</li> <li>・資料4のP.44、45の挿絵を変更したほうが良いと思います。 (P.44 一番上の挿絵…女性が介護を支えるイメージに見えてしまう→一方の挿絵の支え手を男性に) (P.45 一番上と二番目の挿絵…女性が保育を担うイメージ→一方の挿絵を男性に) (P.45 一番下の3人の男性→一人は女性にした方が良いと思います)</li> <li>・資料4のP.43の説明の記載(表記)についても「市民検討会議」の市民目線でのコメント(表記方法)が良いと思います。第5回全体会で議論してみたいかでしょうか。</li> <li>・質問で申し上げた実行計画に具体的な市民目線のアクションプランをパイロット的に入れて共に実行してゆきたいと思います。市民からの市民へのメッセージは分かりやすいのですが具体的に何が実行されて何がかわるのか？が自助→公助の点で分かりにくいです。ぜひ具体的な取組予定をメッセージに盛り込みたいと思います。</li> </ul>
	<p>&lt;討議2 グループワーク「みんなで取り組もう 私たちができること ～市民から市民へのメッセージ」について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしについて、市民(自助)の前に公助、共助で何ができるか、何をしてくれるかがあり足りないものは自助で。まずは公助の施策の方向性の提示とセットでないとおしつけがましいメッセージになってしまう。メッセージの伝え方には注意してほしい。一方で何が何でも公助に頼るのではないことはメッセージとして残したい。</li> <li>・共助の課題を議論したい。</li> <li>・今までの委員みなさんからの熱い意見を文章化するのはとても難しいことだと感じました。特に自助の点だけでメッセージを作るにあたり軽い文に感じ市民の皆さんには是非、総合計画の全体を読んでもらうことを願う。</li> <li>・今日は市民から市民へのメッセージの取りまとめを行いました。市民が単体で出来る事には限定されているので全体のメッセージもとりまとめに参加できると良かったかと思えます。ただ議論は充実したもので参加することで充実感がありました。</li> <li>・市民から市民へのメッセージという位置づけは案外と難しいと思った。同じ市民として検討委員であるということはどういう形でメッセージ発信すれば最もいい形になるのか。総合計画との関連性においてどう発言できるのかを考えてしまった。</li> <li>・メッセージごとに「私たち市民委員へのご提案をします。」→カットしP.43に一言記載すれば良いのではと思います。</li> <li>・討議の時間は少なく思いました。</li> <li>・事前に資料を配っていることで事前の意見も集めて当日配ると内容を充実させることもできるのではないのでしょうか。そうすることでグループ内だけで話をまとめるのではなく多くの意見を参考にできると思えます。</li> <li>・今回はリーダーを市民委員に委ねましたが討議に集中させるにはコーディネーターがいた方が良かったと思えました。</li> </ul>

<p>会議の進め方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民検討会議で行政からの様々な資料で行政サービスや地域課題を知ったうえで一市民として市民目線でメッセージを伝える難しさを実感しました。私たち市民検討委員の思いが伝わる報告書を期待しています。実施計画のローリングで PDCA に市民が参加できる仕組みを取り入れてください。</li> <li>・ 熱心な意見交換が出来た。行政の方と協力してできたかと思います。次回も住みやすい街川崎にする為頑張りたいです。</li> <li>・ 今日は今までの中で一番活発な議論ができたように思います。市民目線で校正をしていく作業はとても面白く自分自身の学びにもなりました。ありがとうございました。</li> <li>・ 環境というテーマが無かったのは残念です。</li> <li>・ メッセージの受け手の幸福度は「①人に必要とされること②人の役に立つこと」の心構えが大切。(人間としての究極の幸せ)</li> <li>・ 活発な意見交換ができました。</li> <li>・ 各提案の実現化を祈ります。</li> <li>・ 地域包括ケアシステムの方向性、具現化につながればと思います。(第1グループ)</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化社会に向けて医療費の増大が考えられ医師不足、入院ベッドが足りなくなるのは明白であり、今後自宅での医療のケースが一般的になると思われる。これからは労働力の高齢化の年を増していく方向に持っていき女性の労働力も必要と考える。20年後は労働力が多くは望めないで上記の(女性の労働力)、(男性としては)70歳ぐらいまで働ける街づくりが必要と考える。</li> <li>・ 中学校給食導入が計画より大幅に遅れてしまい非常に残念です。期待を裏切られるとせっかくの施策もマイナスに感じられてしまいます。今後の様々な施策に対しても計画を着実に実行できるようリカバリー策も考えて欲しい。</li> <li>・ 市民検討会議も回数を重ね本日はこれまでの議論を振り返り文章にまとめるという議論も果たしたが極めて有意義であったと思う。</li> <li>・ 川崎市、スタッフの皆様、本日もありがとうございました。</li> <li>・ 川崎区に仕事に来ている区の倍の人口の人々に仕事終わり「おしゃれでカイトキな川崎駅前まで遊んで行こう！」となりお金がたくさん落ちて少子高齢化問題が解決することを願っています。</li> <li>・ 少子高齢化、財政逼迫化の中で行政の市民自治、市民活動による補完は必須。これを実現するためには行政の支援、コーディネートによる市民自治、市民(コミュニティ)活動のテーマごとのリーダー・推進役の創出・育成も含む組織化(づくり)が必須である。これをどう実行していくかが実施計画で検討されるべき。</li> <li>・ 本日の会議のことではありませんがいつもの議論のまとめ作業に大感銘。察するにかなりの残業をされていることと存じます。</li> <li>・ 今日熱い話し合いが出来たと思う。みなさんととも川崎を愛しているんだなあと感じました。あと何回かでこの会が終わってしまうのはとてもさみしい気もあります。</li> <li>・ 場の提供とか仕組みづくりが最優先と思う。(モデル地域をつくる必要があると思う)</li> <li>・ それなりの頂に近づいた感じです。</li> </ul>